

EMERGENCY

緊急事態

松本労働基準監督署管内において労働災害**激増**中



安全第一



▼
危険要因

- 令和3年8月末現在の死傷者**294人**
- 前年同期比**69.0%** (**120人**)の増加
- 多発している災害の型(タイプ)は「転倒」「無理な動作」「墜落」「はさまれ」の4種で、全災害の**69.6%**を占める
- 災害多発傾向が著しい「道路貨物運送業」「林業」「小売業」「清掃業」では、より一層強固な労働災害防止対策を
- 全事業場・全職場における安全衛生点検の実施

WARNING

の徹底排除による労働災害撲滅



ひと、暮らし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

松本労働基準監督署

松本署管内において多発している4つの災害型（タイプ）の特徴

「転倒災害」型

管内において令和3年中に発生した労働災害であって、8月末日までに報告受理した転倒災害は56人。

うち、「すべり」による転倒が25人（44.6%）、「つまずき」による転倒が22人（39.3%）で、この二つのタイプによる災害が転倒災害全体の83.9%を占める。

被災者を年齢別にみると、「すべり」に比べて「つまずき」は40歳代以上の中高年齢労働者層の被災割合が高い。

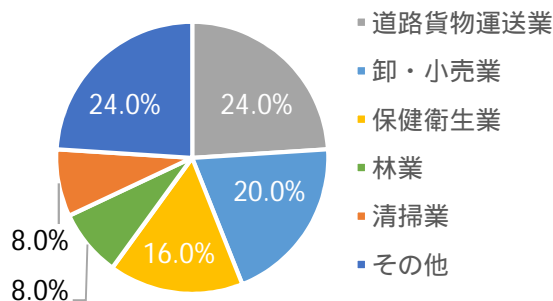
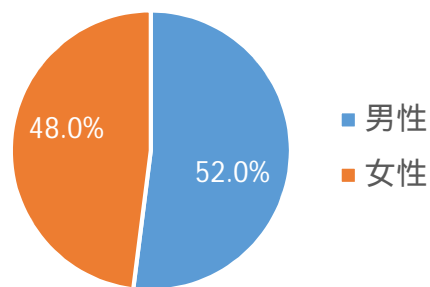
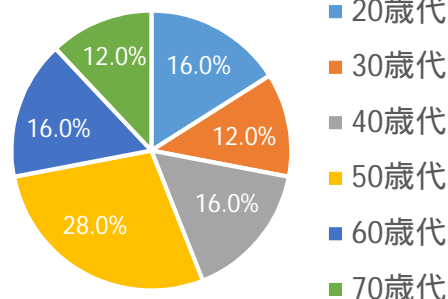
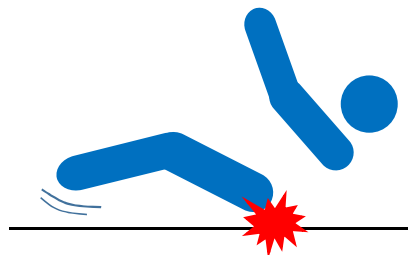
被災者を男女別にみると、「つまずき」における女性の被災率が著しく高い。

業種別にみると、「すべり」では「道路貨物運送業」「卸・小売業」「保健衛生業」における発生件数が多く、「つまずき」では「卸・小売業」「ビル管理業」における発生件数が多い。

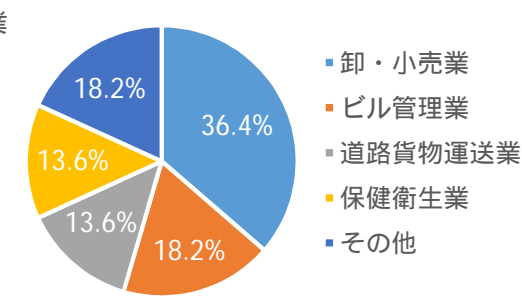
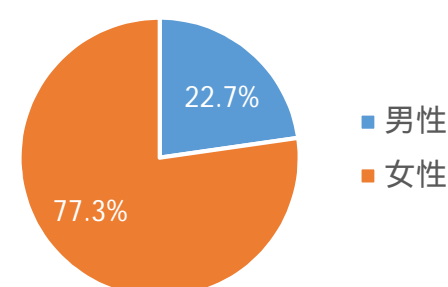
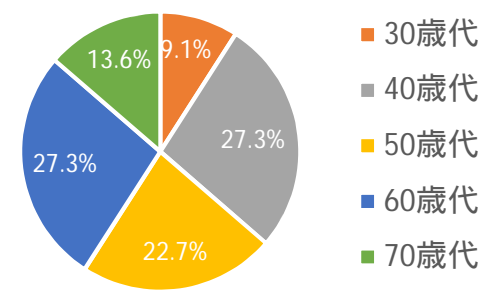
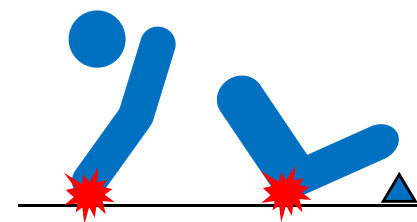
「すべり」では「足首等の捻挫」「手首や肘の骨折」「腰部の打撲」が多く、「つまずき」では、「ひざ・足首」等の下肢の骨折が多く、次いで「手・手首」等の骨折が多い。

屋外作業や水を取り扱う職場では「すべり」に、女性や中高年齢労働者が多い職場では「つまずき」に注意!

「すべり」タイプ



「つまずき」タイプ



「動作の反動・無理な動作」型

8月末日までに報告を受理した動作の反動・無理な動作災害は39人。

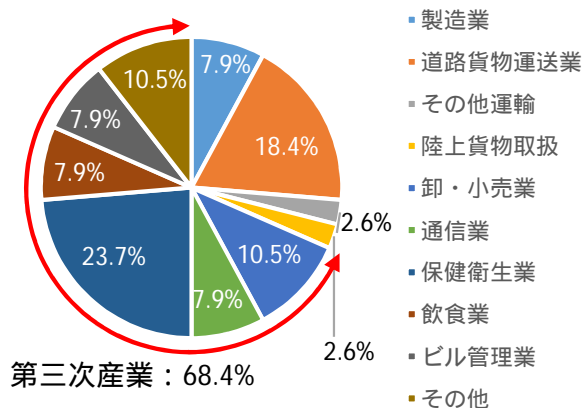
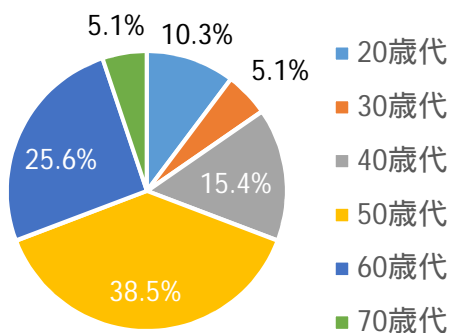
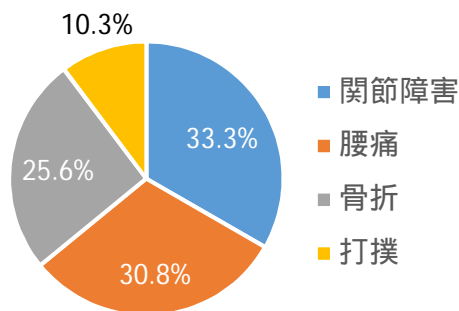
動作の反動・無理な動作：不自然な姿勢・動作の反動等により、すじをちがえる、くじく、ぎっくり腰等になる状態をいう。

傷病性質別にみると、足首やひざの「関節の障害」が多く、次いで「腰痛」、足腰の「骨折」、腿や脛の「打撲」の順。「下肢」「腰部」の負傷がほとんどを占める。

年齢別にみると、50歳代・60歳代の負傷が圧倒的に多い

業種別にみると、「保健衛生業」と「道路貨物運送業」において多発。

全体的には第三次産業が7割近くを占めており、多発傾向が強いといえる。



「墜落・転落」型

8月末日までに報告を受理した墜落・転落災害は38人。

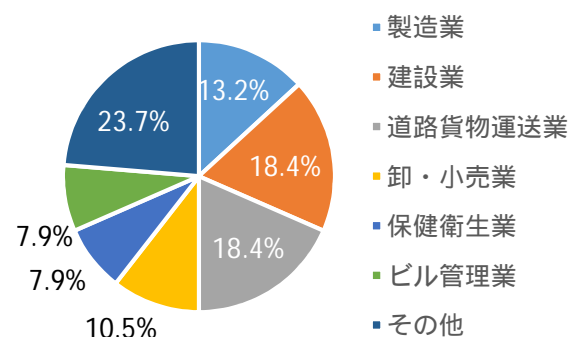
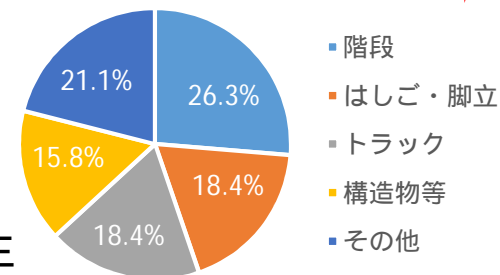
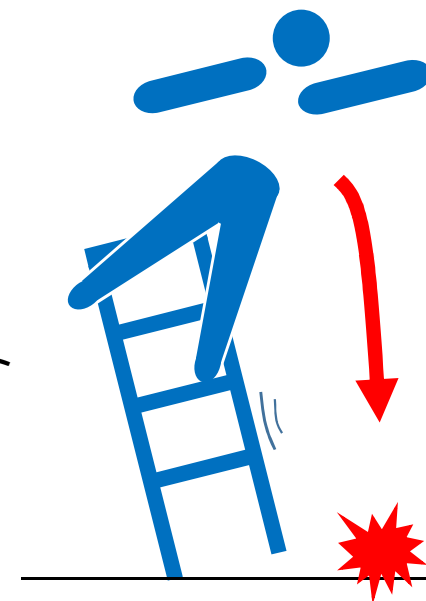
起因物別にみると、「階段」からの墜落が最も多く、次いで「はしご・脚立」「トラック」からの墜落が多い。

起因物：その災害をもたらす「もと」となったものをいう。

業種別にみると、「建設業」「道路貨物運送業」において多発。「製造業」「卸・小売業」「保健衛生業」「ビル管理業」での発生も多い。

いわゆる「高所」からの墜落災害も発生しているが、全体的には「脚立」「トラック」等、1m前後からの墜落が多い。

「ちょっとした高さ」の作業であっても、墜落災害では平均休業日数31.2日の大ケガとなっており、高リスクの危険要因といえる。



「はさまれ・巻き込まれ」型

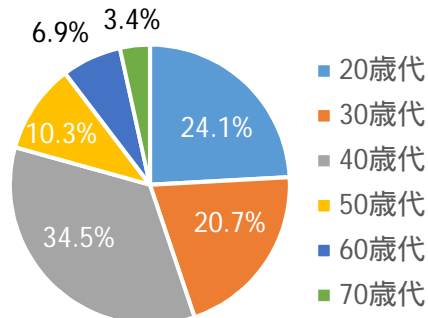
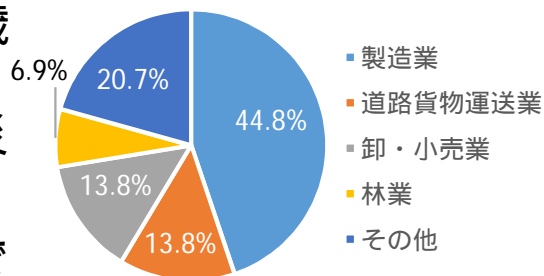
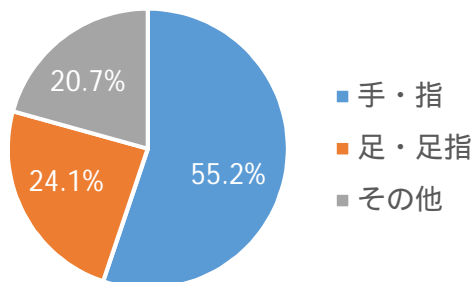
8月末日までに報告を受理した
はさまれ・巻き込まれ災害は29人。

負傷部位別にみると、「手・指」
の負傷が圧倒的に多い。

業種別にみると、「製
造業」での発生が最も多
く、次いで「道路貨物運
送業」「卸・小売業」で
多発している。

年齢別にみると、「40
歳代」「20歳代」「30歳
代」の順で多発してお
り、高年齢労働者の被災
率は低い。

傾向として、製造業で
は機械設備での手指のは
さまれ、道路貨物運送業
ではロールボックスパ
レットで手指、テール
ゲートリフターで足のは
さまれが多い。



重要

労働災害撲滅計画概要

松本労働基準監督署

松本署管内で多発している労働災害の撲滅を目的と
し、全ての職場において安全衛生の総点検を実施する
ことによる「危険の芽」の早期発見と殲滅を主体とした、
無災害かつ快適な職場環境の構築・強化計画

- 一、「転倒」危険箇所の確認と改善
- 一、「墜落」危険箇所の確認と改善
- 一、重量物取扱作業等の確認と改善
- 一、「はさまれ」危険箇所の確認と改善
- 一、有害物取扱業務等の確認と改善
- 一、職場における新型コロナウイルス感染防止対策



厚生労働省では「**職場のあんぜんサイト**」を開設し、災害事例や教育資料等、労働安全衛生の有効な情報を発信しています。各事業場の安全衛生活動等にご活用ください。

